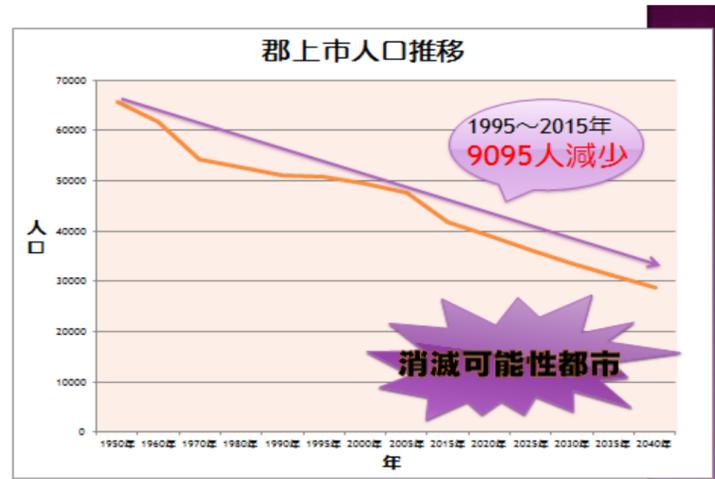


おいでなれ！～郡高民泊大作戦～

生活福祉

《テーマ設定の理由》

郡上市の人口減少が進んでいる中で、人口を増やすためにどうしたら良いか考え、他県から郡上に引っ張ってくるという方法に着目し、移住について調べることにしました。



郡上に移住してもらうには・・・郡上の生活や良さを知ってもらうことが

民泊

民泊とは

子供たちが農林漁業を営む家庭で民泊を含めた滞在をすることで、その地域の自然や文化に触れ、地元の人々と交流をすること。
《場所》郡上民泊推進協議会(大和ふれあいの森)
《時期》5月～6月 関西方面、中学3年生

《内容》

- ・1泊2日の民泊体験、入村式・退村式の送迎
- ・家業体験(農作業など)
- ・共同調理(1日目夕食、2日目朝食)
- ・自己紹介、ふれあい、会話、だんらん

《認定される条件》

- ①自然に触れる体験や活動が提供できる。
- ②飲料水が水道水である。
- ③簡易宿所登録料22000円の納付。

《メリット》

- ・手紙のやりとりが嬉しい
- ・子供の声が集落に響く
- ・お別れの際の泣き別れに感動
- ・農家同士の情報交換が盛んになる
- ・生活リズムの変化

体験手数料がもらえる！！

- 1名受け入れ→6,500円
- 1回で4～6名受け入れ→26,000～39,000円

郡上で移住について活動している団体

ふるさと郡上会 人口減少を防ごう

若い世代に移住・定住してもらいたい

- ・市の委託を受けている
- ・郡上市内の施設と連携している。
- ・いろいろなイベントで宣伝・相談窓口

《活動》

- ・移住相談フェア(都市部) ・チームまちや
- ・和良おこし協議会 ・フェイスブックやホームページ
- ・ファンクラブ
- ・イラスト田んぼ ・郡上踊り ・ラフティング ・狩猟イベント
- ・民泊・課外授業 ・里山の袋

チームまちや、和良おこし協議会が管理している空き家は、住み始める前の修理代を負担してくれ

《主なイベント》

- 8月6日：郡上踊り会場での移住相談窓口
相談者・・・2人
- 10月28日 和良鮎まつり
 - 11月10日、11日 町屋オィデナーレ
 - 11月25日 和良の空き家見学(参加者→大阪や愛知など都部からの参加者が数組！)

《移住者にインタビュー》

- 永吉家族
- 磯さん夫婦

実際の声を聞いてみた！！

○永吉剛さん・祐子さん・子供3人

- ・自給自足できる場所
- ・ライフラインが途絶えない

- 郡上で川遊びのインストラクター
- 市営住宅で生活
- 西和良の一軒家で生活

ふるさと郡上会へ

実際の声を聞いてみた！ 2

商売も暮らし楽しみたい

鳥取でパン修行

空き家探し

いそばんオープン

近所みんなが優しい！

●移住者が感じた郡上の良さ

- ①近所づきあいが良い。
- ②自由に遊べる。
- ③お金なしで遊べる。
- ④空き家探し・仕事探しが大変。

1回都会に出たほうが良

《郡上の良さを知ってもらう。かつ、地元の学生が参加できるプログラム》

時期・・・12月・1月

《1泊2日のスケジュール》

1日目

時間	内容
11:00	参加者のお迎え
12:00	昼食
13:00-14:30	雪遊び・かまくら作り
15:00-16:30	餅つき・餅花づくり
17:00	夕飯作り
18:30	夕飯
19:30	片づけ・入浴
21:00	郡上かるた・花火
22:00	就寝

2日目

時間	内容
6:00	起床
6:30	朝食づくり
7:00	朝食
8:30	プレゼント・記念写真
9:30	送る

雪遊び、かまくら作り、餅つき、餅花づくり、郡上かるたといった地元の学生も1回以上は経験したことがある活動を参加者に教えながら一緒にやる！！

本来は午後から始まるが、昼食前からすることによって、地元の人たちと活動する時間が増え、焦ることなく過ごせる。

《まとめ》

郡上で生活するなかで、当たり前と思っていた事が都会の人からすると当たり前ではなかったり、自分が気付いてない良さがいくつもあつたりしたので驚いたし、その良さを大切にしたいと思いました。地元の人や移住してきた方がいろいろなイベントなどを通して郡上を活性化させようと工夫しているので、これらのイベントに地元の学生が参加し地域の貢献ができれば良いと思います。イベントへの参加や民泊をすることは条件を満たせば誰でも簡単にできるので、少しでも興味を持ったら参加してみてください！！